

2011年11月2日

**ソーシャルメディア上で友達登録100人以上を対象とした「SNS100友調査」を実施
～ 友達登録 平均256人、ミニブログでは6割と「ネットだけの交流」～**

株式会社電通は、ソーシャルメディア上でのアクティブユーザー層を対象に、友達関係に関する意識調査を行いました。twitter等のミニブログ、mixi、facebook等のソーシャル・ネットワーキング・サービス（以下 SNS）を利用している関東圏の15歳から37歳までの約1万3千人に、ソーシャルメディア上での友達の数についてインターネットで予備調査を行い、特にその中で100人以上と友達登録をしている800名にソーシャルメディアの友達意識について調査をしました。その結果、従来の現実生活における友達に加えて、ソーシャルメディア上での新しい「友達」の存在が、個人の交流範囲を大きく広げてきていることがわかりました。そんな100人以上の友達を持つ若年層（＝100友）の性質やコミュニケーションの実態について、最新動向をご紹介します。



-----【調査結果トピックス】-----

1. 100人以上の友達を持つソーシャルメディア利用者は、平均友達数が256人、12のコミュニティに参加。ミニブログ利用者では、6割以上の友達と「ネットだけの交流」。

今回調査した800名は、平均256人の友達を持ち、12のコミュニティとつながっています。交流の仕方に関しては、ミニブログでは6割以上の友達と「ネットだけの交流」。これに対し、SNSでは8割近くが「現実でも交流」があることがわかりました。

2. 参加しているコミュニティは、「趣味」つながりがトップで65%。ネットでの振る舞い方は、「なるべく空気を読む」が44%。ソーシャルメディアでの友達は、「同質さを確認」しあうことから始まる。

ソーシャルメディアでは現実生活での接触がない分、共通の「趣味・関心事」などで結びつき、お互いの同質さを確認しあうことが出発点になっているとうかがえます。

3. ミニブログでは、94%が他人の発言を引用。しかも、自分のコメントを付けずに「そのまま引用」する割合が6割。情報を回しあうことが、友達との絆になっている。

ミニブログでは、情報を加工せずにそのまま引用・拡散するという行動が日常的に行われています。引用する理由は、62%が「ただ伝えたい・共有したい」と答え、引用した内容で友達と盛り上げられたり、共感できたときに喜びを感じていることがわかりました。

4. ソーシャルメディア上では、「顔写真の公開」を38%の人が問題ないとし、特に若い世代になるほど、積極的に個人情報を公開する傾向がみられる。

見知らぬ仲間と出会うために、効果的な個人情報の公開が必要になり、プライバシー意識に変化をもたらしていると考えられます。

5. 「友達が多い」ことは、現実生活での充実感＝「リア充」には必ずしもつながらない。

「現実生活が充実しているか？」という質問に対して、友達数が100～149人で13%、150～299人で14%、300人以上で21%の人が、「現実生活は充実していない」と答えました。

-----【調査概要】-----

■友達関係意識調査「SNS 100友調査」

- ・調査方法 : PCインターネット調査
- ・実査時期 : 2011年9月上旬
- ・調査地域 : 関東圏 (東京、神奈川、千葉、埼玉、群馬、栃木、茨城)
- ・調査対象者 : ○中学生を除く15～37歳までの男女個人
○mixi、facebook、twitter等のソーシャルメディアを現在利用している
○ソーシャルメディア上でつながっている人が合計で100人以上いる
※複数のソーシャルメディアで同じ人とつながっている場合は1人としてカウント
- ・有効回収サンプル数 : 合計 800ss

	15～19歳 学生(中学生除外)	20～22歳 学生	23～27歳 社会人	33～37歳 社会人	計
男性	100	100	100	100	400
女性	100	100	100	100	400
計	200	200	200	200	800

-----【調査結果の概要】-----

1. 100人以上の友達を持つソーシャルメディア利用者は、平均友達数が256人、12のコミュニティに参加。情報伝達の最大範囲は平均2,825人におよぶと考えている。また、ミニブログ利用者では、6割以上の友達と「ネットだけの交流」。

今の若者たちは、現実生活では交流のない、ソーシャルメディアだけでつながった「ソーシャルな友達」を持つことがあります。今回予備調査で、約1万3千人のソーシャルメディア利用者に「ソーシャルメディア上での友達数」を聞いたところ、100人以上いると答えた利用者（＝100友）は14%にのぼりました。

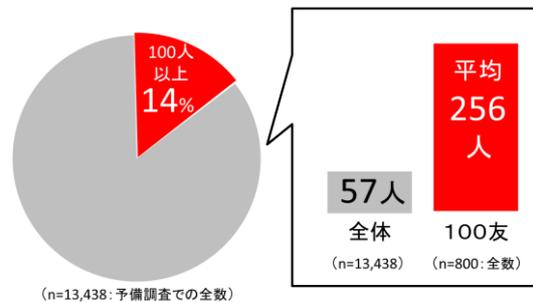
「100友」内での平均友達数は256人で、12のコミュニティを持ち、自分の発信した情報は、つながっている友達がさらに情報を引用・拡散することで、最大2,825人に及ぶと考えています。従来からの友達の概念が変化・拡大したことで、交流範囲も大きく広がっていることがうかがえます。

また「友達との交流の仕方」について調べたところ、ミニブログでは、6割以上の友達と「ネットだけの交流」であるのに対し、SNSでは、8割近くの友達と現実でも交流をしていることが分かりました。

◇ 全体で100人以上の友達とつながっているのは、「14%」。(予備調査より)

◇ 100友（100人以上とつながっている人）の、平均友達数は「256人」。

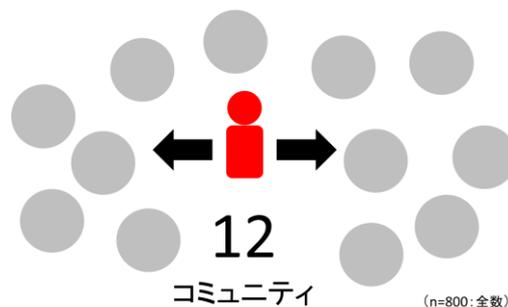
ソーシャルメディアでの友達数は？



◇ ソーシャルメディア上で付き合いのあるコミュニティ数は、平均「12コミュニティ」。

交流してるコミュニティ数は？

(“同じ高校”つながり等)



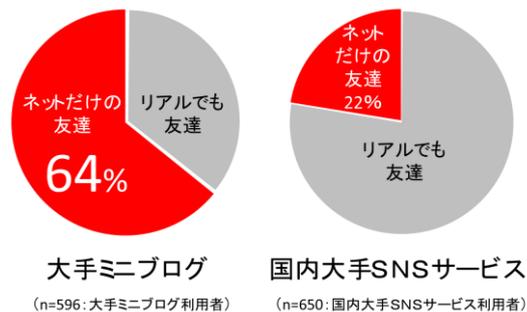
- ◇ ネット上で自分が発信した情報が届いていると思う最大人数は平均で「2,825人」。

自分の最大伝達範囲は？



- ◇ ミニブログでは、6割以上の友達と「ネットだけで交流」。SNS サイトでは、8割近くの友達と現実でも交流している。

友達とのつきあい方は？



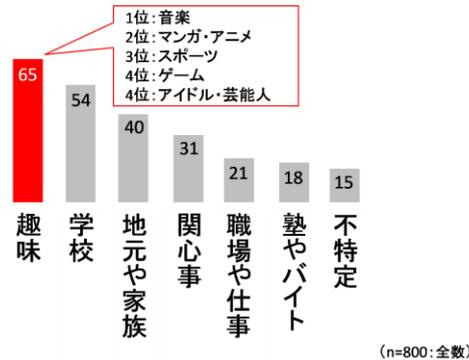
2. 参加しているコミュニティは、「趣味」つながりがトップで65%。ネットでの振る舞い方は、「なるべく空気を読む」が44%。ソーシャルメディアでの友達は、「同質さを確認」しあうことから始まる。

ソーシャルメディアで参加しているコミュニティの種類は、トップが「趣味」つながりの65%、続いて「学校」の54%、「地元や家族」の40%となりました。現実生活におけるコミュニティを、必ずしも現実生活だけのつながりではないコミュニティが上回る結果になりました。

また、ネットでの振る舞い方について聞いたところ、「なるべく空気を読む」が44%と一番多くなりました。ソーシャルメディアでは現実生活での接触がない分、共通の「趣味・関心事」等で結びつき、お互いの同質さを確認しあうことが出発点となっているとかがえまます。現実生活では会うこともなかった「自分と似た誰か」と出会える新鮮さが、ソーシャルメディア利用のモチベーションになっていると推測されます。

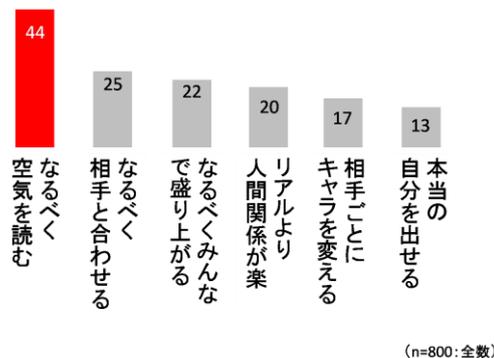
- ◇ ソーシャルメディア上で付き合いのあるコミュニティの第1位は「趣味」つながり 65%で、「学校」54%、「地元や家族」40%などの現実生活発のコミュニティを上回った。「趣味」つながりの内訳は、「音楽」59%、「マンガ・アニメ」34%、「スポーツ」28%、「ゲーム」「アイドル・芸能人」24%。

コミュニティは、何のつながり？



- ◇ ソーシャルメディア上では、同質さを乱さないよう、ヨコを見て同調するという行動が取られている。ネット上での振る舞いとしては、「なるべく空気を読む」がトップで 44%。

ネットでの振る舞い方は？



3. ミニブログでは、94%が他人の発言を引用。しかも、自分のコメントを付けずにそのまま引用する割合が6割。情報を回しあうことが、友達との絆になっている。

ミニブログでは、情報を加工せずにそのまま引用・拡散するという行動が日常的に行われています。ソーシャルメディアの中でミニブログを最も多く利用している人に聞いたところ、他人の発言を引用する人は94%で、自分のコメントを付けずに「そのまま引用」する割合が6割もありました。

「そのまま引用」することが多い人に、コメントを付けない理由を聞いたところ、62%が「ただ伝えたい・共有したいから」と答え、引用した内容で友達と盛り上がれたり、共感できたときに喜びを感じていることが明らかになりました。

自分が中継基地のようにただ再発信する。情報拡散の波に参加する喜びがあるから、時にソーシャルメディアでは情報が爆発的な広がりを見せるようです。

- ◇ ミニブログ愛用者（ソーシャルメディアの中でミニブログを最も多く利用している人）では、「94%」が他人の発言を引用している。

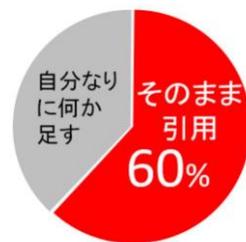
他人の発言を引用してる？ (リツイート等)



(n=272:ミニブログの愛用者)

- ◇ ミニブログ愛用者のうち「60%」が、他人の発言を引用する際に自分のコメントを何もつけずにそのまま引用することの方が多いと回答。

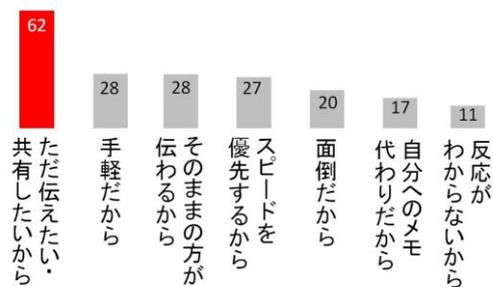
そのまま引用する？



(n=272:ミニブログの愛用者)

- ◇ そのまま引用する理由は、「ただ情報を伝えたい/共有したいから」62%。

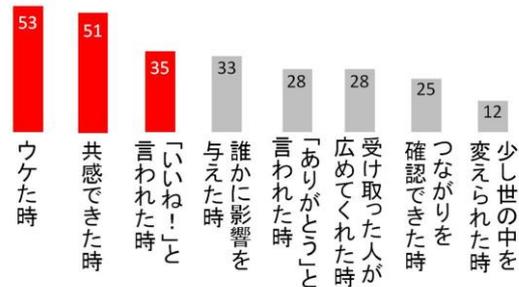
なぜ、「そのまま引用」する？



(n=188:ミニブログの愛用者のうち、そのまま引用することが多い人)

- ◇ 情報を広めたときにうれしいと思うのは、「ウケた時」53%、「誰かと共感できたとき」51%、「「いいね！」と言われた時」35%。

情報を広めて、うれしいのは？



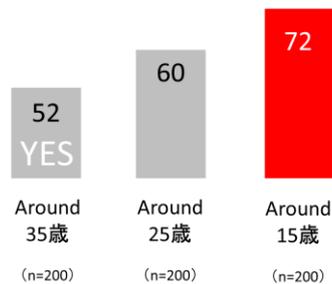
(n=188: ミニブログの愛用者のうち、そのまま引用することが多い人)

4. ソーシャルメディア上では、「顔写真の公開」を38%の人が問題ないとし、特に若い世代になるほど、積極的に個人情報を公開する傾向がみられる。

ソーシャルメディア上では「プロフィールの公開」を47%が、「顔写真の公開」に関しても38%の人が問題ないとしています。この特徴は、特に若い世代において顕著にみられました。若い世代ほどソーシャルメディア上での友達を多くしたいと考えており、見知らぬ仲間と出会うために、効果的な個人情報の公開が必要になり、プライバシー意識に変化をもたらしていると考えられます。個人情報のオープンさと友達の広がりには、表裏一体の関係があるようです。

- ◇ 「友達が多い方がいい」63%
(Around15歳 72%、Around25歳 60%、Around35歳 52%)。

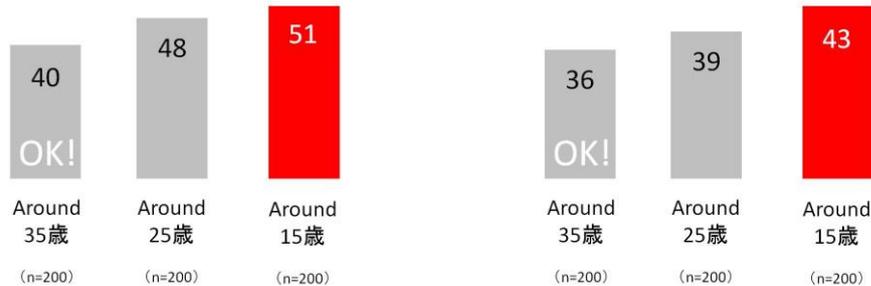
友達は、多い方がいい？



- ◇ 「プロフィールは全体公開 OK」 47%
(Around15 歳 51%、Around25 歳 48%、Around35 歳 40%)。
- ◇ 「プロフィールに自分の顔写真 OK」 38%
(Around15 歳 43%、Around25 歳 39%、Around35 歳 36%)。

プロフィールの全公開、OK?

顔写真の公開、OK?



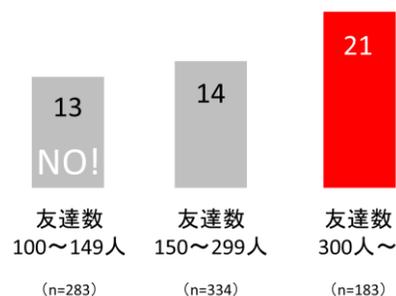
(※Aroun35 歳=33~37 歳、Around25 歳=23~27 歳、Around15 歳=15~19 歳)

5. 「友達が多い」ことは、現実生活での充実感=「リア充」には必ずしもつながらない。

今回の調査で、友達の数と現実生活での充実感は必ずしも比例しないことがわかりました。現実生活が充実しているか聞いたところ、友達数が 100~149 人で 13%の人が、150~299 人で 14%の人が、300 人以上で 21%の人が、現実生活は充実していないと答えました。友達が多いことは、必ずしも現実生活での充実感にはつながらないようです。

同質さに依りがちな関係は、快適な一方、現実生活ほど「摩擦」や「手応え」が感じられないからかもしれません。

「現実生活は充実してる」と思う?



【本件、リリースに関するお問い合わせ先】

電通 コーポレート・コミュニケーション局 広報部 市川、林田
Tel : 03-6216-8041

【本件、内容に関するお問い合わせ】

電通 ストラテジック・プランニング局 谷内、桜井、森
Tel : 03-6216-8707